

横浜緑ヶ丘高校が創立100周年

新体育館で記念式典

No. 1024
2025年（令和7年）6月12日（木）号
中区本牧緑ヶ丘の地で「緑高（りょっこ
う）」と親しまれてきた神奈川県立横浜緑ヶ
丘高等学校（坂元久美子校長）。2023年
に創立100周年を迎えた。今年5月23日に記
念式典が新体育館で行われた。当日の様子
と、県内有数の伝統校の歴史を振り返る。

A black and white photograph capturing the grand opening of the new school building in 1925. The building, a long, two-story structure with a prominent gabled roof and many windows, stands majestically in the background. In the foreground, a large group of students, all dressed in identical light-colored uniforms, are arranged in several neat rows, facing towards the camera. The scene is set outdoors on a grassy field under a clear sky.



代校長=写真左上=と竣工した校舎全景（1925年）
その後、5月17日を創立記念日と定めた

◀▲式典が行われた新体育館。県立高校最大級の規模（旧体育館の2倍）を誇る広さで、柔剣道場や部室も併設されている
▼かつて庭に植え込まれていた木を再活用した格子のデザインが印象的な現校舎

は「正しい半端力を持ち、人のために尽くしき、それない心で、実践」やり遂げる。」の意。蔵村が意匠した校章の三中の「中」は「偏りのない」意も示す。

「後援三徳会」は開校間もなく立ち上げ。その後、GHQのPTA設立指導もあつたが、現在も同じ独自組織で、保護者らが緑高生の学びを支援している。

現在「スーパーサイエンスハイスクール」「学力向上進学重点校」に指定される同校。校訓「徳一誠」のもと、自他ともに尊重されるのがのびとした校風は、100年をかけて培われてきたものなづ。

The image is a composite of several photographs. On the left, a portrait of Tadaharu Yamada, a man with glasses and a suit, speaking into a microphone. In the center, a speech bubble contains his text. To the right, there's a collage of various school-related scenes: students in a classroom, a hallway, and what looks like a school sports field or track.

横浜大空襲で校舎全焼。終戦後の12月、進駐軍は校地を全面接収。再びの廢校の危機に、学校・呉護署・同窓生は米軍司令部に校地返還を繰り返し請願し、再び同地に木造校舎を建設した。48(昭和23)年、学制改革で「横浜第三高等学校」と改称。50(昭和25)年に「横浜緑ヶ丘高等学校」と改称し、男女共学となつた。

初代校長・藤村与六が定めた校訓「三徳一誠」は、「三才」の別名ともい

緑ヶ丘の地に校舎が完了した。
45(昭和20)年5月、横浜大空襲で校舎全焼。終戦後の12月、進駐軍は校地を全面接収。再びの廢校の危機に、学校・呉護署・同窓生は米軍司令部に校地返還を繰り返し請願し、再び同地に木造校舎を建設した。48(昭和23)年、学制改革で「横浜第三高等学校」と改称。50(昭和25)年に「横浜緑ヶ丘高等学校」と改称し、男女共学となつた。

The collage consists of six photographs arranged in a grid:

- Top Left:** A large ensemble of students in white shirts and dark trousers performing on stage. The text "過去12回、東関東大会に出場! これからも聴く人が感動する音楽を届けます!" (Past 12 years, participated in the Tohoku Kanto Competition! We will continue to deliver moving music!) is overlaid.
- Top Right:** Students in white traditional-style clothing performing a dance routine in a gymnasium. The text "7月に大阪万博で行われるダンスコンテストの全国大会「夢舞(MOVE)」本戦に出場決定!" (Qualified for the national competition 'Dream Dance (MOVE)' at the Osaka Expo in July!) is overlaid.
- Middle Left:** Two students in school uniforms standing at microphones, serving as emcees. The text "生徒2人が司会進行を務めた" (Two students served as emcees) is overlaid.
- Middle Center:** Students playing string instruments (violin and cello) on stage. The text "管弦楽部" (String Ensemble Club) is overlaid.
- Middle Right:** Three students in school uniforms sitting on stage, possibly performing or presenting. The text "当時の写真や流行歌とともに学校の歴史を紹介した" (Introduced the school's history through photos and hit songs from that era) is overlaid.

「三徳一誠」のもと 次世代のリーダー育む



「緑高」の精神

創立100周年 おめでとうございます 一順不同



キラリ「緑高生」

SCHOOL PHOTO

緑高生は、「青春!」という名のあらゆる挑戦をしています

体育祭

海外研修(ニュージーランド)

緑高祭(文化祭)

～緑高の絆をつなぐ～ 同窓会「牧陵会」

ほくりょうかい

いつできたの？
母校創立から5年後、第一期生による第1回の同窓会開催を機に発足

なぜ「牧陵会」？
校舎が「本牧の丘陵」にあったことから名付けられた。会員数約2万8千人

どんな活動をしているの？
「牧陵新聞」の発行、緑のフェスティバルの開催、学校行事への支援など、同窓生の交流と親睦、母校の発展のための活動

緑高生が「全力」を發揮

**牧陵・緑のフェスティバル
ぜんりょく音楽祭**

創立100周年を記念して、出演者、運営、観客の全てが「緑高」という音楽祭を開催。吹奏楽部やクラシックギター部所属の在校生のほか、この音楽祭のために在校生と卒業生で結成された合唱団、日本のみならず世界で活躍する卒業生の音楽家など約200人が出演。
(2024年9月23日 神奈川県立音楽堂)

予告「牧陵・緑のフェスティバル」

2025年11月15日(土) 横浜緑ヶ丘高校で開催決定

問合せは牧陵会 ☎045・664・9020 (月～木曜日、10時～16時)